

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告（その22）です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2021 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の45企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。

◇ 企業紹介

【フロンティア・デザイン株式会社】

フロンティア・グループは関市を中心に、デイサービス事業や福祉用具の販売・レンタルなどを行っています。またデイサービス向けのアプリケーションの開発・販売や、デイサービスで行われる個別機能訓練のコンサルティングなどを行っており、取引先は全国に拡大しています。2018年には介護業界、また岐阜県の企業では初めてIT賞を受賞しました。



【HP】 <https://laquare.jp>

SDGs	取組中					今後の目標		
		3 すべての人に健康と福祉を	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	16 平和と公正をすべての人に		11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナーシップで目標を達成しよう

◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・デイサービスを行っている会社で岐阜県に3施設あることが分かった。業務のIT化が進む中、日本人のおもてなし精神を大切にしつつ、新しいものを取り入れていくことで、要介護者とのふれあいの時間を増やしていることにすごいと感じた。また、デイサービスを行うこと以外にもITや福祉用具の事業も行っており、利用者に寄り添うだけでなく、介護を行う立場の人々にも寄り添っていることにすごいと感じた。

・介護のお仕事について知れた。超少子高齢化という厳しい社会の中で、自分たちがどうすれば効率よく、より簡単に仕事ができるかを考え、介護のお仕事だけでなく新しいシステムなどを作っていてすごいと感じた。一度会社が潰れそうになったものの、たくさんの工夫をして会社をよりよい方向へと努力する従業員の人々は素晴らしいと思った。

・書類にかかる時間を減らして、利用者様にかかわる時間を増やしたいという思いでアプリ開発が行われたそうです。過去の私たちのように毎日の書類で苦しんでいるデイサービスを救えると思い事業化したそうです。事務作業を効率化し利用者様に喜んでもらいたいという思いが感じられてとても良いと思いました。

・フロンティア・デザイン株式会社さんは会社が倒産しそうな時に、他の介護の会社ではやらないアプリケーションを作成して、社員一人一人の仕事量を減らすという取り組みをされていて、僕にはない発想だったので驚きました。また、講師の方の人生の歩みを聞いて、自分のやりたいことを職業にすることが一番大事ということが分かって、僕も将来やりたいことができるように今のうちに広い視野を持ちたいです。

・デイサービスは全国で4万件あり、コンビニより多い。これから分かるように、高齢者からとても必要とされている事が分かる。ただ、少子高齢化の影響でより介護は大変になっているという現実。これはとても重大な問題だと思った。さらに、税金を抑えるために値段が下がっていて、これ以上人を雇えないという状態になっている。医療法人でできること、できないことがあり、もっといろんなことができる環境を求めてやるのが大事だと思った。

・私は医療の仕事に少し興味があります。今回就きたい仕事の内容が変わっているかもしれない、想像と違うかもしれないという話を聞いて、とても参考になりました。将来どんな仕事をするのかまだ分かりませんが医療関係に限らず、いろんなことに興味を持ち、いろんなことをやって、自分がやりたいことをもっと見つけていきたいです。ありがとうございました。

・この講座で学んだことは二つあります。一つ目は「未来はきっと、想像と違う。それでも、皆さんの活躍できる場所は無限にある。」というもので、フロンティア・デザインの宇佐見さんは少子高齢化によって目指していた仕事に就けなかったですが、その後の就職先で訪問リハビリ等をして、介護関係の仕事について今も働いている事からそう学びました。二つ目は「大変でもやりがいがあれば楽しい」というもので、エンジニアの吉川さんがフローティングデザインに入社してアプリを全て1人で作って、それが大変でもそれがやりたかったことだから楽しいという話を聞いて学びました。

・デザインなどに興味があり、参加させて頂きました。システム開発や販売を行っていて、年齢を超えて、挑戦されていて、楽しそうだと思いました。デイサービス事業福祉用具の販売やレンタルをしていて、高齢者の方々のことも考えている素敵な会社だと思いました。関市のより良い街づくりのために頑張っているの、応援したいです。

・私は将来理学療法士になりたいとっていて、理学療法士はリハビリを主にしているイメージだったけれど、お話を聞いてリハビリだけではなく、システムを開発するなどリハビリ以外のお仕事もしていることを知り、とても参考になりました。

・介護とICTというあまり共通点のなさそうな2つの物をうまく組み合わせて会社をよりよくしていることがとてもすごいと思いました。この講座を通して僕は、自分にできることをしっかり理解すること、それを活かせる場所を把握することの重要性を学ぶことが出来ました。このことを生きていく上で忘れないようにしたいと思いました。また、今まで介護の事についてはあまり知らなかったけど話を聞いて、今の社会にとっても必要な重要なことだと知ることができたのでよかったです。

・私はPCの仕事をやっている方の話を聞いて、私はPCの仕事の知識をもってれば仕事をこなせると思っていたけれど、PCでも仕事によっては看護に関わる知識ももっていないと仕事ができないとその方はおっしゃっていて、自分のなりた職業の知識だけではなく、幅広い知識もある

程度知る必要があると考えさせられました。

・介護についての色々な話を聞くことができ、超少子高齢化社会などの問題を知ることが出来た。フロンティア・デザインさんは、この問題を解決するためにアプリケーションを開発したりしていて、働いている人も自分からアイデアを出したりやれることをやったりしていてすごいと思った。また働いている方がやりがいを持って楽しく仕事をしていて、私も将来そんな仕事に就きたいと思った。SDGsにも積極的に取り組んでいることがわかった。

・僕は、介護の会社にもITがかなり関わってくるなんて知りませんでした。介護の内容だけでなく、これからの社会で介護がどれだけ必要なのか、どれだけ介護の危機が迫っているのか、問題点などもはっきりしていてすごいと思いました。宇佐見さんは自分のやりたい事や、やってみたい事をすぐに行動に移して、それが人々にどんな役に立つのかというのを細かく考えられていてとても尊敬しました。吉川さんは仕事へのやりがいを見つけ、それを原動力とし仕事へ熱心に取り組むという心に、自分もそんな人間になれたら良いなと思われました。御二人のような目標や自分の意思が明確な人が集まっていけばこれからの社会がどんどん良くなっていくのだなと実感しました。

・フロンティア・デザイン株式会社さんでは高齢者改善のために仕事をしたり、業務効率化のためのアプリケーションの営業、カタログ、アイコンのデザイン、講演、コンサルティングなどさまざまな活動をしていることがわかった。この講演で人と協力していくことや、やりがいを見つけていくことの大切さがわかった。これからは、興味を持っていることにどんどん取り組んで、それを将来に活かしていきたい。また、どんなに大変なことでも、最後まで諦めずに取り組んでいきたい。